西東京市市民協働推進センター

令和４年度第１回運営委員会会議録（確定稿）

■開催日時：令和４年４月19日(火)午後７時00分～８時05分
■開催場所：オンライン開催（Zoom）
■出席委員：柴委員、樋口委員、馬渕委員、森谷委員、川村委員、久松委員、山本委員<以上７名>
■事 務 局：小松センター長、鈴木副センター長、青柳事務局長、小口地域福祉推進課長、中澤地域福祉推進係長、塚澤主任

〇委員のご委嘱
〇事務局より、西東京市市民協働推進センター運営委員会について説明があった。

Ⅰ.報　告　事　項

１．事業報告について

事務局より、３月期の主催事業、ホームページアクセス数、新規登録団体、市民活動相談に対する質疑応答とした。特に質疑はなかった。

２．４月以降の事業について

事務局より、４月以降の実施事業に対する質疑応答とした。特に質疑はなかった。

３．令和３年度報告書について

事務局より、令和３年度西東京市市民協働推進センター事業報告について事務局より説明があった。

委員長：サロンスペースに来てくれる人を増やしたい、活動団体にとって利用しやすいようにという方向で考えていると理解してよいか。予算の都合もあると思うが、Wi-Fiが使えたら助かる団体も多いのではないか。フリーWi-Fiという形でつなげられるようにするとか、打合せしたその場で議事録も印刷できるようにノートパソコンを貸出すとか、そのようにサロンを使えると利用者の利便性が増えるのではないか。

事務局：サロン利用者を増やしたいと考えている。Wi-Fi環境については、運営委員会からの意見として、市に伝えていきたい。

事務局：社協のネットワークへ入らないで、Wi-Fiを使ってもらえるよう試験的に動きだしているところだ。印刷に関してはネットワークという環境の部分があり難しいが、意見として受け止める。

４．今年度の事業及び予算について

事務局より、令和４年度西東京市市民協働推進センター事業計画・予算書について事務局より説明があった。

事務局より、令和４年度西東京市市民協働推進センター活動計画書について事務局より説明があった。

委員長：一通り報告事項の説明が終わったので、ご意見を伺いたい。

委　員：一昨年も申し上げたことと重なるが、人件費が６名でこの金額ではやはり少ないと感じる。総予算が約 1600 万円で予算が足りないのならこの仕事を社協が受託する必要があるのかどうかということになる。良いものを作ろうとしたら、優秀な人材が必要で人件費をかけなくてはならない。この予算では市は形として出来ればよく、ちゃんとやらなくても良いのではないかと感じてしまう。企業は人件費を揃えて会社を運営する。運営委員会の意見は聞いてくれるとのことなので、市もちゃんと事業をやりたいのならもっと予算を準備したほうが良い。企業枠の運営委員の意見として発言を残して欲しい。

委員長：全くその通りだと思う。大事なことだ。

委　員：相談事業では今回も多岐にわたっており、よろず相談が多いが、相談者の行為とか善意が何かにつながったという、小さな積み重ねが活動につながる橋渡しになっていると感じた。丁寧に拾っているところが信頼につながっていると思う。

委員長：４月２日の世界自閉症啓発デーのイベントでは、ゆめこらぼも空き瓶を集める協力をしているが、どこかに記録を残しているのか。

事務局：４月の活動なので、６月のゆめこらぼ通信に掲載を予定している。

委　員：施設の提供及びその他事業の取組みで、社会教育主事の実習生の受入れについて、苦労されているのかと感じる。ゆめこらぼがなにをやっているのか実態をつかみたいので、マニュアルのようなものは作成して欲しくない。社会教育の視点から見たときにゆめこらぼのいろいろな取り組みと何が出来るのかを、実践から学ぶイメージを持っている。社会教育は雲をつかむような事をやっており、これはというものを打ち出し難い部分がある。教育委員会の社会教育課だとか生涯教育課がやっていることだけが、社会教育ではない。社会教育とは民間団体も含めていろいろな取り組みをしている。社会教育としてなにが出来るのか模索している状況である。社会教育委員研修への参加において、西東京市のように社会教育委員の方たちと市民活動推進センターと連携してやっている自治体はあまりないと思う。そういう意味では、社会教育主事を取得しようとしている学生や既に社会教育主事として働いている方たちにとって、一つのモデルケースになるのかと思う。ゆめこらぼとして、社会教育委員にどのようなことを期待しているのかそのあたりを知ることができると、見えてくるものがあるのではないかと思う。

事務局：西東京市は他の自治体と違って珍しいと思っている。社会教育委員の方たちの意識が高いと感じている。歴代委員をやっている方もいるが、その方たちからゆめこらぼと連携を取りながらどうしていったらよいかという観点から、ゆめこらぼが必要だと強く意見がありセンター長として入っている。ゆめこらぼの所管の協働コミュニティ課の課長が今年度は、社会教育の課長が新たに就任した。市としても社会教育と市民活動団体との協働を積極的に推進していこうとしていると考えている。まだまだ手探り状態だが、公民館、企業などいろいろなところと連携しながらの１年になるのではないかと思う。

委　員：社会教育委員は地元の名士がなるケースもあるが、実際なにをやっていいかわからない等の意見もあるので、西東京市での事例は良いモデルケースになるのではないかと期待している。

2. 審　議　事　項

1．前回の会議録について

委員長：意見があれば一週間以内にゆめこらぼに連絡をして欲しい。その後、確定稿とする。

委員長：審議事項まで終了したので、全体を通して意見はないか。

委　員：謝金に関して明細を送って欲しい。

事務局：対応する。

委　員：活動計画の中にある出前展示と NPO パワーアップ講座についてだが、コロナ禍においてかなりオンラインが進んだと思う。展示の仕方も動画での展示も考えられるのではないか。模造紙やボードの展示から少し進んで、発信の技術も最新の方法を取り入れてはどうか。また、パワーアップ講座のワークショップにおいても、その場で発言の用紙をモニターに映したり、必要な方にはその場で印刷して持って帰れるなど、今までのやり方より少し技術を進歩させてはどうか。

事務局：会場にモニターを持っていくなど検討の余地はあると思う。パワーアップ講座の件については、どのようなことが出来るか勉強しつつ、予算がかかるものかも調べていきたい。

委　員：社会活動において、若い方の意識や考え方を取り入れていく方法が課題として挙がってくるのではないか思う。

4．そ　の　他

1．次回運営委員会日程について

日時：5 月 17 日（火）19 時～20 時

会場：オンライン Zoom